

校長室だより

誰もが夢と誇りを持てる
学校づくりを目指して

No.22

令和元年12月24日 文責 校長 林 寛



2019年の今年の漢字は、「令」でした。全国的に大雨や台風などの自然災害が発生したこともあり、昨年に続いて「災」ではないかという予想もあったようですが、「令」が選ばれた理由として、新しい元号の「令和」に明るい時代を願う国民の思いが集約されたということでした。(法「令」改正による消費増税や法「令」順守が重視されたこと、自然災害で警報や避難勧告の発「令」が相次いだことも理由となっていました)。理由については、良いことと悪いことの両面からあるようですが、今年を振り返って、「自分にとっての今年の漢字一文字」を考えてみるのも良いかもしれません。

8/26(月)から始まった2学期ですが、保護者、地域の皆様のおかげで、無事に終業式を迎えることができました。2学期の授業日数は81日でしたが、学習指導や学校行事などの教育活動を計画的に進めることができ、ご協力とご支援に職員一同感謝しています。ありがとうございました。



町少年の主張大会

第13回吉野ヶ里町少年の主張大会が、12/14(土)中央公民館で開催されました。町内小中学校の5年生から中

学2年生までの25人と町内出身の高校生3人が出場しました。本校からもクラスの代表として4人が壇上に上がり、それぞれの意見を堂々と発表しました。発表原稿の作成から修正、スピーチの練習、給食中の放送や体育館でのリハーサルなど、一生懸命に練習した成果が出ていました。



学年間の交流



6年→5年



5年→4年

2学期は、生活科のまち探検や社会科見学、総合的な学習の時間の霊仙寺見学や茶道教室、車いすなどの福祉体験、稲刈り、道徳での出前サガン鳥栖家庭科の裁縫指導など、学校外の先生方(お店、役場、消防署、社協、専門家、民生委員さんなど)の力を借りて子供たちの体験活動を実施してきました。どれも良い体験になっていたのではないかと思います。学校内でも生活科や総合的な学習の時間を使って、自分たちが体験したことや学習したことを他の学年に伝えるという活動にも取り組んでいます。例えば、6年生が修学旅行での報告を5年生にしました。5年生は米や米作りについて、3年生や4年生に伝えました。2年生は自分たちで作った「おもちゃランド」に1年生を招待しました。学年間の交流学習を通して、伝え合う力を育んだり、来年以降の活動に見通しを持ったりすることができます。



2年→1年

ありがとうございました

12/17(火)の学級懇談会には、忙しい中、そして天気の悪い中、参加していただきありがとうございました。学級や学年で、2学期の振り返りや3学期に向けての見通しやお願いがあったと思います。学年のまとめである3学期を充実させ、子供たちの持ち味をしっかりと引き出せるよう頑張ります。

明日から14日間の冬休みです。「冬休みならではの」体験を家族の皆様と一緒にしてほしいと思います。どうぞよいお年をお迎えください。

学校閉庁時の緊急連絡先は、
53-1111(役場の宿直室)へ